

# ASE 活動が大学サッカー部員のコミュニケーションスキルと チーム力に及ぼす影響

佐藤 広騎 (生涯スポーツ学科 野外スポーツコース)

指導教員 中野友博

キーワード：ASE 活動，コミュニケーションスキル，チーム力，サッカー

## 1. 序論

近年、チームスポーツにおけるトレーニングの一環として、野外教育活動を取り入れる動向がみられ、課題解決力、協調性、コミュニケーションスキルなどの向上をねらいとしている。コミュニケーションスキル、協調性、課題解決力などのスキルが低ければ、個々の能力をチームとして機能させることや、チーム力の向上が難しいことがある<sup>1)</sup>。ASE 活動を行う事でコミュニケーションスキルとチーム力に影響があるのではないかと考えた。

そこで本研究では、ASE 活動が大学サッカー部員のコミュニケーションスキルとチーム力に及ぼす影響を明らかにすることを目的とする。

## 2. 研究方法

【調査対象】平成 29 年 12 月 23 日に ASE 活動に参加した、B 大学サッカー部社会人チーム所属の 20 名を対象とする。

【調査方法】石本が作成したサッカー場面におけるコミュニケーションスキル調査用紙<sup>2)</sup>を参考にコミュニケーションスキルを測定するためのアンケート用紙を作成し、ASE 前(Pre)と ASE 後(Post)に使用した。

濱谷が作成したコミュニケーションスキルとチーム力調査用紙<sup>1)</sup>を参考にチーム力を測定するためのアンケート用紙を作成し、ASE 前(Pre)と ASE 後(Post)に使用した。以下、コミュニケーションスキルについて CS とする。

【ASE 活動】ウォール、エレクトリックフェンス、日本列島、ビームを設定した。

## 3. 結果と考察

### (1) コミュニケーションスキル

CS 得点の Pre と Post の平均値を比較するためにノンパラメトリック検定の Wilcoxon の符号順位検定を行った。CS 得点は Pre(31.75)と Post(34.30)で有意な向上がみられた。プログラムが終了してからも、「こうしたらもっと速く解決できた」、「楽しかった」という声が聞こえたことから前向きに取り組んでいたことが伺えた。ASE 活動では、サッカーをプレーしている時にあまりコミュニケーションをとらない選手でも積極的にコミュニケーションがとれていたため CS 得点が有意に向上したと考えられる。

表1:コミュニケーション得点の  
平均値および標準偏差と検定結果

	Pre	Post	Z値	
	M (SD)	M (SD)		
全体	31.75	34.30	-3.780 <sup>a</sup>	**
(n=20)	-3.76	-3.77		

\*\*p<.01

### (2) チーム力

チーム力得点の Pre と Post の平均値を比較するために、ノンパラメトリック検定の Wilcoxon の符号順位検定を行った。チーム力得点は Pre(19.20)と Post(21.60)で有意な向上がみられた。グループでなかなか解決できない場面では意見や発言が少なくなる場面も見受けられた。しかし、何度も意見を出し合い挑戦を繰り返し成功した時には全員で喜ぶ姿や、「もっとこうすれば速く解決できた」などのコミュニケーションも見受けられたことから前向きに取り組んでいたことがわかる。グループで困難な課題に挑戦し成功することでチーム力得点が有意に向上したと考えられる。

表2:チーム力得点の平均値および標準偏差と検定の結果

	Pre	Post	Z値	
	M(SD)	M(SD)		
全体得点	19.20	21.60	-3.533 <sup>a</sup>	**
(n=20)	-1.99	-2.28		

\*\*p<.01

## 4. まとめ

ASE 活動は大学生サッカー部の CS とチーム力がともに有意に向上することがわかった。本研究では、一般化を図るために、今後さらに多くの人数を対象に、ASE 活動を実施する必要がある。

## 引用・参考文献

- 濱谷弘志(2017) 大学女子サッカーチームの合宿がコミュニケーション力やチーム力に及ぼす影響:メタ認知学習とアドベンチャープログラムを取り入れた合宿の効果, 北海道教育大学紀要(教育科学編), 第 67 巻, 第 2 号, pp257-265
- 石本哲也(2008) 自然体験がサッカーチームのコミュニケーションスキルに与える影響, びわこ成蹊スポーツ大学, 卒業論文集